

大昔のくらしと国の統一

1. 学習のねらい

- 狩猟・採集の生活が営まれていたころの様子や農耕が始まったころの人々の生活や社会の様子について理解させる。
- 狩猟・採集の生活の様子を、地域の遺跡や博物館・郷土資料館などを効果的に活用して調べ、それらの時代の人々のはたらきを具体的に考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てる。

2. 単元の概要

縄文時代の様子を描いた想像図を手がかりに、自分たちの生活と比べながら、大昔の人々の生活の様子に興味・関心をもつ。

遺跡からの出土品をもとに、狩りや漁をしていた時代の人々のくらしや社会の様子をとらえられるようにしたり、当時の集落の様子や社会の変化や小さなむらが大きくなってへと統一されていくころの社会の変化をとらえたりする。

強い力をもった豪族や王が現れた古墳時代の様子を考えたり調べたりすることを通して、大和朝廷が進んだ技術や新しい文化を伝えた渡来人との結びつきを強め、国を統一していったことをとらえる。

3. 指導計画

| 学習活動 | 指導支援上の留意点 | 時間 |
|---|---|----------------------------|
| 大野城心のふるさと館での学習 当時の生活で使われていた道具や、本物の土器を触り、大昔の生活について知る。 | 「大野城心のふるさと館」の見学を通して、当時の生活に使われていた道具について調べ、当時の生活について体感的に学ばせる。 | 3 |
| ・狩りや漁の生活 ・変わるくらしのようす ・米作りが広がったころ ・むらからくにへ ・古墳を調べる ・大和朝廷と渡来人のかつやく | | 1 1 1 1 1 1 |
| ふりかえり ふるさと館で学習したことを、新聞にまとめる。 | | 2 |

4. 学習展開例（ふるさと館での時間数3時間）

| 学習活動 | 指導支援上の留意点 | 展示活用 |
|---|--|--|
| 1 見学のめあてを確認し、見学の見通しをもつ。 | | |
| 大昔の道具を見たり触ったりして、当時の人々の願いを探ろう。 | | |
| 2 「大野城心のふるさと館」で見学する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・展示物の中から見つけた遺物について、ワークシートに名前や絵、使い方や考えられることを記入させる。 ・職員やガイドボランティアの説明を聞いて、道具の名前や使い方、工夫点について学ばせる。 ・昔の道具に直接触れたり使ったりする活動を通して、当時の人々のくらしと現在のくらしとの違いや、当時の人々の願いを考えさせる。 | <p>講座学習室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本物の土器を触ってみよう。 ・講義 <p>大野城タイムライン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大野城市の古代から現代までの通史 <p>体験アイテム【古代】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土器の模様付 ・古代の鏡 ・土器立体パズル ・石包丁、砥石を使う ・様々な種類の土器の比較 ・衣装体験 |
| <p>A グループ 大野城タイムライン ↓ 体験アイテム【古代】 ↓ ワークショップ ↓ 講座学習室</p> <p>B グループ 体験アイテム【古代】 ↓ ワークショップ ↓ 大野城タイムライン ↓ 講座学習室</p> | | |
| 3 見学して学んだことをふり返り、まとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・見学をふり返り、大昔の人々の暮らしがどのように変化してきたか考えさせる。 | |

5. 博物館での学習

- 2グループに分かれて見学する。
- 見学した道具について、名前、使い方、工夫しているところを書く。

大昔のくらしと国の統一

月 日 名前 _____

大昔の道具を観たり触ったりして、当時の人々のねがいを探ろう。

| 大昔の道具【絵で表わす】 | 使い方 | 考えられること |
|--------------|-----|---------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

大昔の人々のねがいについて、考えたことをまとめよう

| |
|---------------------------|
| 大昔の人々のねがいについて、考えたことをまとめよう |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |